

# シーファング ヒラメ Light

Seafang  
HIRAME

●がまかつから発売されているヒラメ専用竿が「シーファングヒラメ」だ。アイテムは全4種あるが、今回は三石さんが使用したライト専用の2アイテムを紹介しよう。穂先は高感度、高強度のソリッドティップ「スーパートップ」を採用。全長2.4メートルで自重は120と125グラムの軽量設計。軽快な操作性はもちろん、海底状態や小さなアタリをキャッチする感度にも優れている。シーファングヒラメはそのほかノーマルタイプとしてMH、Hも用意。

▲「ファンク」とは牙を表す英単語

▲ライトのアイテムは2種

タイプ	標準全長 (m)	希望本体価格 (円)	標準自重 (g)	仕舞寸法 (cm)	使用材料 (%)	モーメント	継数 (本)	先径 / 元径 (mm)	錘負荷 (号)
Light ML	2.4	44,500	120	125.0	C99.9 G0.1	6.8	2	1.1/11.1	10~60
Light M	2.4	45,000	125	125.0	C99.9 G0.1	7.3	2	1.15/11.8	15~80

※C=カーボンファイバー、G=グラスファイバー ※モーメント=標準自重(kg)×竿尻から重心までの長さ(cm)



▲今後イワシの回遊が始まれば数型とも期待できる

Gamakatsu  
★軽量高感度でありながらバットパワーは十分。ダイグイと竿が引き上げてくれる

## 寒ビラメの 好シーズン突入

外房大原港出船...太東沖

三石 忍が太鼓判  
ライトで狙うならこの一本

# シーファングヒラメLight

◎12月に入って茨城県が全面解禁となり、これで関東周辺のヒラメ釣り場がすべて釣行可能となった。今シーズンは各地で好調、ファンにとってはうれしうれしいかぎりだ。がまかつフィールドテスター三石忍さんもヒラメ釣りは得意種目の一つ、キモとなる竿選びのこだわりについて語っていた。

▶持参したのは「シーファングヒラメ Light ML / M」の2本

▲どんな条件にも合うようヒラメ仕掛け(がまかつ)も多彩に用意  
▶あままさ丸ではオモリ40~60号を使用

▲当日の釣り場は太東沖7~20メートルダシの浅場を攻めた



◀同じ竿を使う同船者にも1キロ弱



▲あままさ丸船長も思わず竿を取って「軽いいし、バットのパワーもある」と太鼓判



▲この時期になるとヒラメ釣りが多くなるといいう三石さん



◀大型は釣れなかったが、ナギの海でヒラメ釣りを満喫した



▲三石さんは底の状態を探りながら、上下の誘いを繰り返す。高感度の竿を生かした釣り方だ

「先日、この竿で4キロ級を釣りました。狙いは5キロアップ、イワシの回遊もそろそろ始まるはずなので、さらなる大判を目指して釣行します」と自信ありげに語るのだった。

あままさ丸は完全ライトスタイルで、オモリ40〜60号を潮の流れ横流しの向きなどによって使い分けている。この日は終日MLを使用。風もなく、潮の流れも今一つだったが、しっかり釣果に結びつけるのが三石さん。

12月中旬、シーファングヒラメを持参して釣行したのは外房大原港のあままさ丸。釣り場は太東沖の7〜20メートルダシ。数日前から釣況にムラのある状態だったが、0.5〜2キロを4枚とまずまず。

シーファングヒラメ(ライト)は2アイテム。浅場やライト専用船で使用するならML、深場やオモリ80号までを使用する場合はM、といった使い分けだが「好みで選んでいただいたほうがいい」とは三石さんのアドバイス。

「手持ち竿で釣るライトヒラメは軽さはもちろん、操作性、感度、掛けやすさを併せ持ったライトならではの調子が必要なんです」と三石さん。ライトヒラメの基準はPE2号以下、オモリ40〜60号。ノーマル(オモリ80号)と違ってライトは手持ち竿スタイルが基本、必然的に操作性が求められるようになった。まずは軽さ。

「シーファングヒラメ(ライト)は全長2.4メートルで自重120グラム台、この軽さなら終日手持ちで釣っても苦になりません」  
6:4というより7:3に近い調子は操作性をさらにアップさせる。「胴から穂先に張りがあるので、底トントン、上下の誘い、ベイトにあてる宙層釣りなど様ざまな誘いや動作がスムーズに行え、仕掛けの位置も明確に把握できます。もちろんバットパワーもあるので、フッキングさせやすく、大型がきても振り回されることなく安心してヤリトリできます」

手持ちで釣るには感度も要求される。「スーパートップの穂先、カーボンの本体は軽さもあって驚くほど高感度です。イワシが暴れる様はもちろん、オモリが底をたたく様子が手感で伝わり、根が砂地かが分かります。これはヒラメ釣りではとても大切なことで、底の状態でタナの取り方、誘い方が変わってくるし、根掛かりも回避できる

ようになりませう」  
シーファングヒラメはライトヒラメに必要な条件をすべて満たしていると断言する。三石さんの卓越したテクニクは竿に依存する部分もあるというわけだ。  
「シーファングヒラメ(ライト)は2アイテム。浅場やライト専用船で使用...」